

愛南町僧都の風力発電所裁判 控訴審 高松高裁判決 報告集会のご案内

日時：5月29日(木) 18:00~19:30

会場：コムズ(松山市男女共同参画推進センター) 4F 視聴覚室A

主催：えひめ風車NET

愛南町の風力発電開発による土砂災害の危険を訴えた全国初の裁判について、当日の高松高裁判決をもとに報告会を開催します。どうぞご参加ください。



▼ 日本被団協 ノーベル平和賞受賞記念講演会

日時：5月23日(金) 14:30~16:00

会場：愛媛大学・南加記念ホール (事前申し込みが必要)

講師：松浦秀人さん(日本被団協四国ブロック代表理事)

主催：愛媛大学 連絡先：Tel 089-927-9046

共催：愛媛県原爆被害者の会

▼ 伊方原発をとめる会 第15回定期総会

記念講演：「なぜ日本は原発を止められないのか？」 青木美希さん(ジャーナリスト)

日時：5月25日(日) 13:30~16:00

会場：コムズ 5F 大会議室

連絡先：伊方原発をとめる会 (Tel 089-948-9990)

▼ 第68回 えひめ母親大会

記念講演：日本被団協ノーベル平和賞受賞！私たちの社会は私たちの手で作っていかう
～戦後・被爆80年 コース世代の核兵器廃絶アクション～

講師：高橋悠太さん(かたわら代表理事 核廃絶ネゴシエーター)

日時：5月25日(日) 10:00~16:00

会場：砥部町文化会館(砥部町宮内1410)

主催：第68回えひめ母親大会実行委員会 (Tel 089-933-2493)

▼ ノーベル賞受賞記念・被爆80年の6・14平和の集い

日色ともえさん(劇団民藝)の原爆詩の朗読、県内在住被爆者の証言ほか

日時：6月14日(土) 13:30~

会場：松山市民会館 中ホール

主催：被爆80年の6・14平和の集い実行委員会

▼ きむきがん 済州4・3鎮魂劇「流民哀歌一四月よ、遠い日よ一」

日時：6月21日(土) 14:00開演

会場：松山市民会館中ホール

料金：前売り2500円 当日2999円 (武井事務所でチケット預かっています。)

主催：劇団石(トル)、愛媛公演実行委員会

連絡先：Tel 090-1000-3006(渡邊さん)、Tel 090-8281-5079(高さん)

▼ 新たな戦争を止めるために一沖縄戦の遺骨を掘り続ける具志堅隆松さん語る

日時：6月29日(日) 13:30~

会場：愛媛県生活文化センター(松山市北持田町139-2)

講師：具志堅隆松さん(沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガンマファイア」代表)

主催：ノーマア沖縄戦・えひめの会 (Tel 090-3783-8332) 参加費700円(資料代)

※6月23日(月) 18:00~ 沖縄慰霊の日・市駅前スタンディング

武井事務所は月曜から金曜の10時~16時に開けています。お気軽にお立ち寄り下さい。



生き活き政治ネット

松山市衣山2-4-47、2F

TEL/FAX 089-924-2485

ikiiki@cnc.e-catv.ne.jp

2025年4月25日発行

参議院選挙で野党勢力のさらなる躍進を

昨年10月の衆議院選挙で、自民党の議席が減り、与党が過半数割れをして、数の力で押し切るやり方は通用しなくなっているように見えます。

ところが、医療費の患者負担に月ごとの限度を設けた「高額療養費制度」の改悪案では、がんや慢性疾患などで苦しい治療を余儀なくされている方々を不安に陥らせました。当事者の方々が声を上げ、参議院で新年度予算を修正するという前代未聞の対応とはなりましたが、あまりにも国民の実態とかけ離れた政策を打ち出す自公政権に、怒りがわきました。

選択的夫婦別姓制度の導入についても自民党の一部が反対に固執し、個人の生き方を政治的に制限し続けています。この背景に長期政権による利権やおごりがあるのではないのでしょうか。その結果、国民のための政治ではなく、政権維持のための政治になっていると思いませんか。

少子高齢人口減少、気候危機、多様性が重視される今こそ、国民の声が届く風通しの良い政治にしたい！ そのために、市民の力で政権交代させ、緊張感のある政治にしたい！ ささやかながら、私たちは毎月20日、「市民連合えひめ勝手連」で、政権交代を訴えて松山市駅前で街頭行動をしています。どなたでも参加できます。ごいっしょに、政治と暮らしを自分の言葉にしてみませんか。



いよいよこの夏は参議院議員選挙です。貴重な野党の一議席、ながえ孝子さんのリーフレットを同封します。お読みいただくと幸いです。

生き活き政治ネット 《政治カフェ》のご案内

こんな駅にしたい

なぜ、私たちは「JR松山駅鉄道高架はいらない」というのでしょうか

日時：6月1日(日) 13:30~15:00

会場：松山市民会館 第4会議室

お話：市川 寛さん、篠崎英代さん ほか

補助金頼みの公共事業が、はたして市民にとって有益でしょうか、改めて市民目線で考えてみませんか。ご参加をお待ちしています。

高額療養費上限引き上げについて思うこと



私は肺がん患者です。抗がん剤治療は体に大きな負担をかけ、満足に働くことができません。それでも生活を続けていくためには収入が必要ですが、十分な支援がない現状では、頼れる人もおらず、無理をせざるを得ない状況です。

そんな中で高額療養費の上限が引き上げられることは、大きな負担増につながります。医療費が高くなれば、治療を継続すること自体が難しくなる患者も増えるでしょう。私自身、タバコも酒も嗜んでいないのに肺がんになりました。病気は誰にでも起こり得るものです。

病と闘う患者が、経済的理由で適切な治療を受けられなくなる社会であってはなりません。高額療養費上限の引き上げには強く反対します。(EMさん)

高額療養費制度の改悪が議論されている時、何とかストップさせたいと、声を届けて来ていただきました。ぜひ貴重な声に耳を傾けてください。

学習会「公文書館ってなあに？」に参加して

2025年3月29日、松山市民会館で開催された大本敬久さんの「公文書館ってなあに？」という講演会に参加した。

公文書館とは、歴史的資料としての公文書（行政文書、法人文書、特定歴史公文書等）を保存し、一般に公開・利用に供する機関・施設のこと。公文書館は、過去の記録を未来に伝え、国民の共有財産として活用することを目的としている。そんな貴重な施設ながら、図書館や博物館と違ってあまりなじみのない公文書館について、それは具体的にはどのようなものか、とか、愛媛の公文書館の設立への動きや現状などの基本的なことをわかりやすく説明していただいた。

私にとってうれしかったことは、早くから公文書館の必要を訴えていた一人として島津豊幸先生の名前が出たことである。まだ中の川通りに屋台が出ていた頃のこと、町でばったり会って「大早君、ちょっとやらんか」と誘われ、そこで熱く公文書館の話をしていただいたことをなつかしく思い出した。

その頃から四半世紀ほど経つと思うのだが、さて、現在の愛媛においてはどうか。未だ公文書館のない全国2県の一つである。県にも以前から構想はあったようだが、具体的には最近になってやっと始まったというところだろうか。しかし、積極的にはなっていないのではないだろうか。例えば、書庫の設置場所が水害、湿気によるカビ等、保存に不適格な地下であることなど、積極的に「公文書館をつくろう！」という態度ではないと思う。

私たちにとって良い公文書館が出来るかどうか、私たちはその動向に関心を持って見ていくことが大事だと思う。(大早 友章)

販売中！ こんな駅にしたい

なぜ、私たちは「JR松山駅鉄道高架はほらない」というのでしょうか...

JR松山駅高架化を通して公共事業のあり方について考えたいと、これまでの長い経緯、市民からの提案、議会でのやり取りを一冊にまとめました。

購読ご希望の方は「生き生き政治ネット」事務局までご連絡下さい。

発行 JR松山駅高架化を考える会 2025年3月1日
頒価 200円



今や日本全土を戦場にする準備が着々と進んでいる。

自衛隊基地と部隊の拡張・新設。中国を攻撃するためのミサイル配備や大型弾薬庫の建設。民間の空港や港湾の拡張・整備と軍事使用。などなどが琉球弧の島々だけでなく、特に西日本の各地で進んでいる。そのことが地元では報じられても、全国で報じられないので、他所の現状がわからない。反対の運動はそれぞれ各地にあるので、各地の市民がつながって強大な国家権力と闘い、なんとしても戦争をとめよう！と、2月に「戦争止めよう！ 沖縄・西日本ネットワーク」が結成された。

そのきっかけとなったのが「ノーモア沖縄戦・えひめの会」が去年4月に松山で開いた集会「知り つながり とめる 戦争への道！ 4.21集会—沖縄・西日本で進む「戦争態勢」—」。私たちが考えた集会案内ちらしの呼びかけ文「知り、つながり、とめる！」が沖縄・西日本ネットワークでも使われている。わたしら、なかなかやるやん！ と自画自賛。

「中国脅威論」が嘘とわかれば、今の軍拡をとめられる！ と考え、リーフレット『本当に中国は攻撃して来るのだろうか？』（1部10円）を100万部配布しよう！ と頑張っている。— フランス革命の大きな原動力となったのが、『第三身分とは何か』というパンフレットだったことを参考にして。—

6月29日（日）には沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」代表の具志堅隆松（ぐしけん たかまつ）さんの講演会を愛媛県生活文化センターで開く。まっすぐ心の奥に入ってくる具志堅さんの話をみなさんもぜひ聴きにきてください！

ついに政府は3月27日、宮古・八重山から九州・山口への住民疎開計画を発表。こんな愚かなことは絶対に許せない。諦めず、これからも声を上げ続けたい。ともに頑張りましょう！
土居 立子（ノーモア沖縄戦・えひめの会）

県議会への4つのお願い

ここがヘンだよ愛媛県議会・その2

➤ ひとつ「どきどきさせないで」

議会を邪魔するために、参加している訳ではないのに、帽子はかぶらないで、拍手はしないで、私語は禁止...などなど、傍聴の際は不自由なルールが多い。警備員の方は、分かっていますよねと私たちを見つめる。リラックスした気持ちで傍聴に参加したいのに、なんだかこれだと緊張してしまうなあ、といつも思う。

➤ ひとつ「しっかり注意して」

傍聴席が不穏な空気に包まれたことがあった。赤い絵の具を白シャツに散らした～一瞬血しぶきのように見えてぎょっとした～男性が、大声で近くの仲間たちと話していたのだ。議会が開会しても私語は止まらず、野次らしき発声もあった。こういう時こそ警備員の出番でしょ！と思ったのに、何故か注意はなされずおやおやと思った。

➤ ひとつ「はっきり知りたいの」

理事者の答弁が聞き取り辛い事がある。発言内容がパネル表示されるようにして欲しい。

➤ ひとつ「分かりやすく教えて」

「市議会だより」はあるのに、何故「県議会だより」はないのだろう。県議会で議員がどんな質問をしているのか、それに対してどんな答弁がなされたのか、WEBで良いので早めに知らせて欲しい。(渡邊 桂子)



「生き生き政治ネット通信」メールでの送付をご希望の方は、ご連絡ください。
ikiiki@cnc.e-catv.ne.jp